

令和 8 年度政策総務常任委員会議会報告会及び意見交換会について

1 日時 令和 8 年 7 月 12 日（日） 午前 10 時から正午まで

2 場所 いわき市役所議会棟 議場、第 1 ～第 2 委員会室

3 参加者 いわき地域学会 1 名
じゃんがら念仏踊関係団体 5 名
NPO 法人常磐炭田史研究会 4 名
いわきヘリテージ・ツーリズム協議会 3 名
いわき市議会政策総務常任委員会

委員長	木	田	都	城	子
副委員長	塩	沢	昭	広	
委員	根	本	重	和	
	遠	藤	崇	広	
	菅	野	宗	長	
	菅	波		健	
	小	野	邦	弘	
	佐	藤	和	良	

4 内容

(1) 第 1 部 議会報告会

- ・ 地方議会の仕組み・役割、地方議員の仕事の説明。
- ・ 令和 8 年いわき市議会 2 月定例会で審議した内容等を市議会だよりにより説明。



(2) 第2部 活動報告

以下3団体より、日頃の活動内容や、活動における課題等について報告。

① いわき地域学会（報告者：代表幹事 夏井 芳徳氏）

●活動内容

- ・ 地域に関する調査・研究を行い、その成果を発表することで、地域の学術・文化の振興に取り組んでいる。
- ・ 市民を対象とした講座や研究誌の発行を行うとともに、震災復興事業として「大熊学講座」を開催し、大熊町の団体と連携した活動を実施している。
- ・ じゃんがら念仏踊りの歴史や伝承について調査・研究を行い、その継承活動にも取り組んでいる。

●課題等

- ・ 人口減少や少子高齢化、価値観の変化などにより、じゃんがら念仏踊りを継承する各団体では後継者不足や活動規模の縮小が課題となっている。
- ・ 継承活動を持続していくためには、各団体の努力だけでは限界があり、継続的な支援が必要である。



② NPO法人常磐炭田史研究会（報告者：会長 野木 和夫氏）

●活動内容

- ・ 常磐炭田に関する調査・研究を行い、地域の歴史として後世に伝える活動を実施している。
- ・ 全国炭鉱研究者交流会や市民向けフォーラム、定例研究会などを開催するとともに、炭鉱の歴史や文化を広く発信している。

- ・令和8年度は、石炭採掘終了50年の節目に合わせ、記念書籍の発刊や市民発表会、展示会などを計画している。

●課題等

- ・会員数は震災前と比較して減少しており、活動を継続するための人材確保が課題となっている。
- ・炭鉱の歴史や文化を次世代へ継承するため、調査・研究や情報発信を継続していく必要がある。



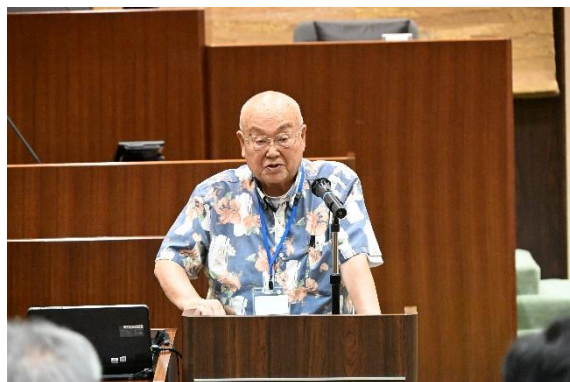
③ いわきヘリテージ・ツーリズム協議会（報告者：事務局長 菅野 昭夫氏）

●活動内容

- ・市内に残る産業遺産や文化財を活用したヘリテージツーリズムを推進し、ガイド活動や学校での体験学習、環境整備などに取り組んでいる。
- ・炭鉱遺産や地域の歴史・文化を伝えるガイドブックを作成するとともに、新聞やラジオ等を通じた情報発信や各種イベントへの協力を行っている。
- ・地域住民と連携しながら、炭鉱遺産周辺の環境整備や保存活動を継続して実施している。

●課題等

- ・後継者やガイド人材の不足、活動を担う人材の育成が課題となっている。
- ・活動には環境整備や資材等の経費を要することから、企業や会員の協力を得ながら活動を継続している。
- ・炭鉱住宅跡地の活用については、今後の方向性が課題となっている。



(3) 第3部 意見交換会（2グループ編成）

「文化財の保護・活用と担い手確保について」をテーマにワークショップ形式により実施。



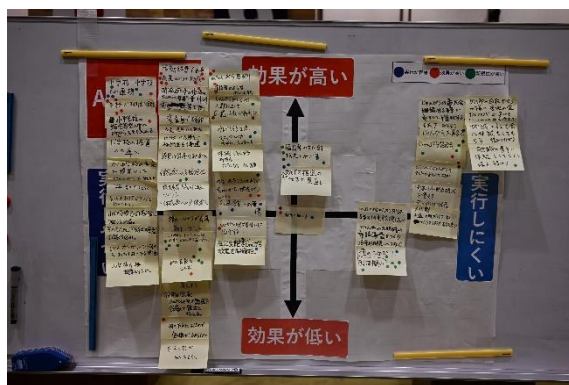
5 意見交換会で発表された意見

(1) Aグループ

- ・ 小・中学校と連携した「子どもじゃんがら」の取組は後継者育成に効果がある一方、指導者が平日に学校へ出向く必要があるなど、活動を支える人材の確保が課題である。
- ・ 太鼓や鐘、衣装などの道具は高額であり、継続的な更新も必要となることから、活動経費に対する支援が必要である。
- ・ 伝統芸能を保存・継承するため、じゃんがら念仏踊りだけでなく、獅子舞や神楽なども含めた伝統芸能を支援する条例等の整備が必要である。
- ・ 公民館との連携や、地域で活動する団体同士が交流・情報交換できる機会

を設けることが必要である（横のつながりが希薄）。

- ・ 現在、市指定文化財となっているじゃんがら念仏踊りについて、県の文化財指定を目指していくことも必要である。
- ・ じゃんがら大会など、団体が一堂に会して発表できる機会を設けることにより、団体間の交流や活動の活性化につながるのではないかな。
- ・ 現在抱えている課題への対応だけでなく、将来を見据えた後継者育成や継承の仕組みづくりを進める必要がある。

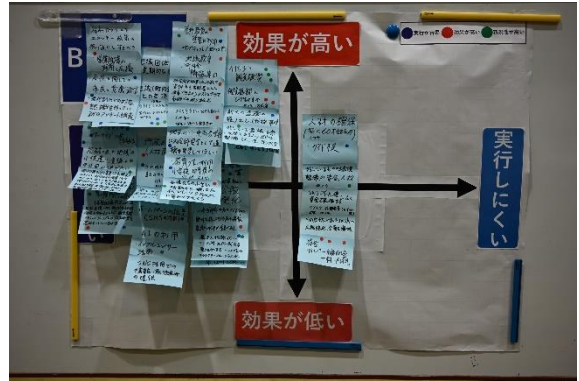




(2) Bグループ

- ・文化財の保護・活用については、教育、情報発信、地域との共生、行政との連携など、幅広い分野と関わりながら取り組む必要がある。
- ・炭鉱や文化財などの地域資源については、観光と結び付けながら活用していくことが重要である。
- ・炭鉱遺産について、女性の視点を取り入れることで、新たな発想や活動の広がりにつながる。
- ・担い手不足への対応として、人材確保を進めるとともに、子供の頃から地域の歴史や文化を学ぶ機会を設けることが必要である。
- ・保存活動を継続していくためには、活動資金の確保が課題である。
- ・子供の頃から地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域への愛着を育むことが重要であり、学校教育との連携を進める必要がある。





6 アンケート結果（11名回答）

※各設問で未回答者がいるため、回答者数と一致しない設問があります。

(1) 時間配分はいかがでしたか。

ア 第1部議会報告会

- ① 長かった (1)
- ② ちょうどよかった (8)
- ③ 短かった (1)

イ 第2部意見交換会

- ① 長かった (1)
- ② ちょうどよかった (5)

③ 短かった (5)

ウ 全体的に

① 長かった (0)

② ちょうどよかった (6)

③ 短かった (5)

(2) 第1部の議会報告会の内容は、理解できましたか。

① よく理解できた (3)

② おおむね理解できた (7)

③ 理解できなかった (0)

(3) 第1部の議会報告会では、どのような内容やテーマを取り上げてほしいですか。

- ・ 議会で賛成と反対が分かれた議案の詳細について
- ・ 補助金等の行先 (どのような団体のどのような活動)
- ・ 地域の人材確保について
- ・ デジタルアーカイブ及び資料の保管

(4) 第3部の意見交換会でのグループ進行 (ファシリテーター) の進行、説明はいかがでしたか。

① わかりやすかった (10)

② わかりにくかった (0)

③ どちらとも言えない (1)

(5) 議会報告会及び意見交換会に参加した感想を記入してください。

- ・ 初めてで大変貴重な経験ができました。
- ・ 初めてなのでタメになりました。
- ・ 意見交換の時間がもう少し長いと良かった。
- ・ 貴重な機会になりました。議員の方と近くで話げできたことは良かったです。
- ・ お忙しい中感謝です。
- ・ 時間が短く、各人の発表までできなかったのが残念。
- ・ このような会を継続していただきたい。

(6) 今後、議会報告会及び意見交換会が開催された場合、参加したいですか。

- ① 参加したい (7)
- ② 参加してもよい (3)
- ③ 参加したくない (0)

(7) その他、市議会に対して意見などありましたら、自由に記入してください。

- ・ 議員さんと意見交換できる機会を増やしてほしい。
- ・ 議会傍聴してみたい。
- ・ 他の地区の議員の方とも交流してみたい。
- ・ 多種多様な考えを持つ方で議会が行われることを望みます。
- ・ 今回の意見（付せんに書いた内容）も参考にしてほしい。

(8) 市議会が発信する情報で、今までにご覧になったことがある項目は。
(複数選択可)

- ・ ほうれんそう (10)
- ・ 市議会ホームページ (5)
- ・ 新聞記事 (7)
- ・ 議会の傍聴 (1)
- ・ 議会をインターネット中継（録画を含む）で閲覧 (1)
- ・ 会議録をインターネットで閲覧 (1)

(9) 市議会に興味を持ってもらうために、どのような広報をすればよいと思いますか。

- ・ 市議会議員祭りとか
- ・ このような場を頂けると親近感が増しますね。議会棟も入れて嬉しかった。
- ・ 今回のようにグループ毎に参加を打診してはどうでしょうか。